

松本零士さんの作品通じ町おこし 群馬で15・16日会合

2012/7/7 21:58 | 日本経済新聞 電子版

「銀河鉄道999」など漫画家、松本零士さんの作品を通じて町おこしに取り組む全国の団体が集まる「第1回 零士ワールドサミット」が15、16日の2日間、群馬県富岡市で開かれる。

市街地に作品の銅像を設置している福井県敦賀市や、廃線になった線路を使いキャラクター列車の運転体験をしている「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」(北海道陸別町)など計16団体が参加予定。

富岡市などを走る上信電鉄でも2008年から銀河鉄道999のイラストを使った車両を運行しており、沿線住民らが開催を呼び掛けた。

15日は松本さんも参加し、世界遺産登録を目指す富岡製糸場で、各団体の活動報告やパネルディスカッションを開催。16日は、ささきいさおさんやタケカワユキヒデさんのライブのほか、コスプレイベントを予定している。15日から9月2日まで市立美術博物館で「松本零士展」も開かれる。

実行委員長の大日方康博さんは「横のつながりをつくり、さらに情報発信していきたい」と話している。問い合わせは同サミット実行委員会事務局(電)0274・62・1511。〔共同〕

NIKKEI Copyright © 2012 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。